

特集

開成町消防団 大解説!

大解説!

災害が発生した時、いち早く現場に駆けつけ、頼りになる存在の消防団。あなたは、消防団のことをどれくらい知っていますか？
 今月は、知っているようで、知らない消防団のことを特集します。

☎ 防災安全課 ☎84-0326

NEW



今年度から活動服が新しくなりました!

活動服

普段の点検や訓練時に着用します。新しい活動服は、オレンジ色の配色を増やし、夜間での視認性を高めたデザインになっています。胸元には階級を示す☆があります。分団長は☆☆☆、団員は☆☆です。

▲特設第1分団長
 古澤 良一さん (中家村)



防火衣

火災の際に着装します。上衣、下衣、手袋、靴の全てが燃えにくい素材でできています。すべてを着装すると、約5kgにもなります。

▲特設第1分団員
 綾部 湧友さん (向中)
 (次ページにも登場します!)



二股分岐管

ホースに結合することで、放水が2口に増えます。

エンジンカッター

金属などを切ることができるカッターです。建物での救助活動の際、障害物を切らなければ、先に進むことができない場合等に使用します。



チェーンソー

災害時、倒木によって道路が封鎖された場合、倒木除去のため使います。



開成町消防団に配備している消防車両はこの3種類!

小型動力ポンプ積載車

ポンプを取り外して持ち運びができるため、車が入り込めないような場所でもポンプを運んで放水することが可能です。町では7分団中4分団がこの車両を使用しています。



管鎗はこのように使います!

管鎗

ホースの先につける大きなノズルです。ここから放水します。



無反動ノズル

管鎗を取り付けたホースで放水する場合、二人で持たなければいけません。管鎗の代わりに無反動ノズルを結合することで、一人でも放水することができます。

消防用ホース

1本の長さは20mあり、火災時には何本も結合して放水します。水が通っている状態だと、40~60kg程になることも。



消防ポンプ車

高性能のポンプと高出力のエンジンを搭載し、火災の際に主力として活躍する車両です。小田原市消防本部でも使われています。特設第1分団と特設第2分団に配備されています。



救助資機材搭載車

救助活動ができるように、エンジンカッターやチェーンソー等、救助用資機材が装備された車両です。第2分団に配備されています。



災害名	手当支給額
火災	2,100円
訓練・点検	1,400円
災害出動 ※4時間以上	3,150円



役職名	年間報酬額
団長	225,000円
副団長	145,000円
分団長	115,000円
副分団長	73,000円
班長	55,000円
団員	52,000円

▲ 消防団員の待遇は? A 年間に一定額支払われる年額報酬や様々な手当が支給されます。

分団名	受持地区
特設第1分団	下延沢・円中
特設第2分団	榎本・中家村
第1分団	岡野・金井島
第2分団	上延沢
第3分団	宮台・牛島・みなみ
第4分団	上島・河原町
第5分団	下島・パレットガーデン

▲ 開成町に消防団員はどれくらいいるの? Q 町内には7つの分団があり、93人の消防団員がいます。しかし、定員は108人のため、現在不足している状況です。

▲ 誰がなれるの? Q 入団時の年齢が18歳以上45歳未満で、開成町に住所がある方なら、誰でも入団できます。大学生や専門学校等の学生さんでも18歳以上であればOKです!

▲ 消防団って何? Q 消防本部(消防署)が、専門の消防職員が常勤する消防機関であるのに対し、消防団は他に本業を持ちながら非常勤で活動する消防機関です。

▲ 消防団員になるの? Q どんなことをするの? A 災害時に消火活動や避難誘導等を行います。平時には、訓練や機材の点検、歳末火災特別警戒等の広報活動をしています。また、消防操法大会や出初式など、日ごろの訓練を披露する場もあります。年間の活動日数は30日程度です。

消防団 Q&A

